



中野区  
議会議員

# 中村 延子

## 区議会レポート

発行 / 中野区議会民主党議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone: 080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150  
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol.8

平成26年8月号

### 平成26年第2回定例会本会議にて一般質問をいたしました。

#### 1. 男女共同参画施策について (1) ワーク・ライフ・バランスについて

中野区が目指す、全員参加型社会を作っていくためには、区民一人ひとりの「仕事と生活の調和」が必要不可欠。ワーク・ライフ・バランスを実現した社会の定義は、「国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」であり、その社会の実現のためには行政はあらゆる障害を排除する必要がある。例えば、マタニティ・ハラスメント、妊娠、出産での解雇、雇い止め、精



神的、肉体的なハラスメントと定義して行った連合の調査では、4人に一人が経験したとの結果が出ている。産みたいと願う人がいつでも産める社会にしていく事が、今後の女性のキャリア・モデルを変え、本当の意味でのワーク・ライフ・バランスの推進と呼べる事になると思うが、区の見解は。

A 子育てを女性だけの問題とはせず、社会全体で支えていくということを広く啓発し、相談支援を充実させることが必要と考える。また、周産期を含む出産育児支援の拡充、子ども・子育て支援新制度の本格実施、保育サービース・子育て支援の拡充、安心して出産や育児ができるまちづくりを進めていく。

非常に残念な事に、都議会にて女性都議の一般質問の際に、セクハラと取れる野次が投げかけられた。これは、品位を欠くだけでなく、国際的にも日本の性別に対する意識の低さを露呈する結果になってしまった。オリンピック・パラリンピックを6年後に控える東京で、このような事が起きてしまった事は大変遺憾であり、国際社会への信頼回復が急務だ。ワーク・ライフ・バランスの観点からも、セクハラを根絶していく姿勢が必要です。これは議会で

起きた事ではあるが、日本社会の根深い性別意識を変えていくには、社会全体で取り組まなければいけない課題だと考えるが、区の見解は。

A ワーク・ライフ・バランスを推進するためにも、男性・女性双方の意識改革について国全体で取り組んでいくべき課題であると考えている。区として積極的に正しい知識を発信するとともに、相談体制の充実が必要だと考えている。

(2) 少子化対策について

もし現在の人口減少傾向が続けば、2060年には人口が約8700万人まで減少するという検証結果も出ており、2030年に合計特殊出生率が2.1程度に回復する場合においても、2090年代まで人口減少が続く。少子化対策は急務。一方、国では、安倍内閣で女性の力の活用や社会参画の促進が日本の強い経済を取り戻すために不可欠としている。女性だけが、家事や育児を行いつつ、社会でも活躍するという事は不可能であり、少子化対策には、男性の育児参加が必要不可欠だ。男性が育児参加できる風土を作っていくべきだと考えるがどうか。

A 男性も妊娠期から両親学級等へ参加する事を促進するなど、共同して育児を進めるための意識の醸成に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを制度化している優良企業の紹介など、他の企業への波及も進めたい。

2. グローバル人材を育てるための教育について

区では、国際交流事業の中で、子どもと外国人の交流を実施しているが、限定的だ。子どもの頃に外国人との交流を持つ事はグローバル人材を育てる上で、非常に価値のある経験になり、多様性の理解や外国文化に触れる事により自国の文化を学ぶという意欲にもつながる。度々質疑の中で、外国人留学生の人材を教育現場に活かすことを提案してきた。現在、2つの小学校で外国人留学生との交流事業を実施している。人材に限りがある事も重々承知しているが、この2つの小学校や中野駅周辺の子どもたち限定的になるのではなく、出来るだけ多くの子どもたちにとってこのような経験をさせてあげる事が出来るよう、区としてもマネージして欲しいがどうか。

A 区は明治大学、帝京平成大学と3月に包括協定を締結した。今後、連携事業の拡大を検討したい。

## 中野区長選挙で 田中大輔氏が 再選されました。

6月1日告示、8日投票の区長選挙は、田中大輔氏が4期目に再選されました。私たち中野区議会民主党議員団が推したきじけんじさんは次点に終わりました。投票率は4年前よりも1%下回る29.49%と相変わらず低投票率でした。

この結果を受け止め、これからも中野区民の目線に立ち、区政のチェックを果たしていきたいと思ひます。

## 大手企業の 女性セミナーで 講師を務めました。

4月18日、某大手企業労働組合の「女性セミナー」にて講演をさせていただきました。ワークライフバランスをテーマにお昼時間の45分間の会。最初20分ほどお話し、その後参加された方々の質問等を受けながら、政治家になった理由や女性政治家としてのお仕事、悩みや苦悩、モチベーション等お話ししました。こんなに大勢の方の前で自分の話をするのは初めての事でしたが、とても良い経験になりました。特に、ある方に「これを機会に地方議員選挙にも行こうと思った」と言っただけ、本当にうれしく思いました。



## 豊島区へ 視察に行ってきました。



4月16日、石塚真知子西東京市議会議員、本目さよ台東区議会議員とともに、豊島区の「がん対策推進条例」および「デートDV教育」について視察をしてきました。同年代の女性議員とは興味分野が近く、今後も連携して取り組んでいきたいと思ひます。

## 会派視察へ 行ってきました。

3月26日から3日間、会派で北海道深川市、赤平市、富良野市へ視察に行ってきました。深川市では成功している病児・病後児保育の施策について、赤平市では駅に併設された市民施設「交流センターみらい」について、富良野市では市民が理解しやすいように作られた「市民向け予算説明書」についてお話を聞いてきました。今後の中野区の施策に生かしていきたいと思ひます。



# 中村延子

なかむら のぶこ

略歴

1981年 9月2日生まれ 東京都中野区出身／東京文化小学校、東京文化中学校卒業／米国アニーライトスクール高等部卒業／米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業／在学中、北京大学医学部へ短期留学／約4年間、民間企業に勤務／民主党衆議院議員手塚よしお秘書、参議院議員蓮舫秘書として経験を積み、2011年4月中野区議会議員選挙で1530票をいただき初当選／**役職**：厚生委員会・地域支えあい推進特別委員会副委員長

[www.nakamuranobuko.jp](http://www.nakamuranobuko.jp)

趣味

●音楽、料理、旅行、フラワーアレンジメント ●おとめ座／B型／酉年